

リーディングDXスクール事業【実践事例】

熊本市立城東小学校（熊本県）

【取組内容①】 写真や動画を活用し、子どもの気づきを広げ、共有する。

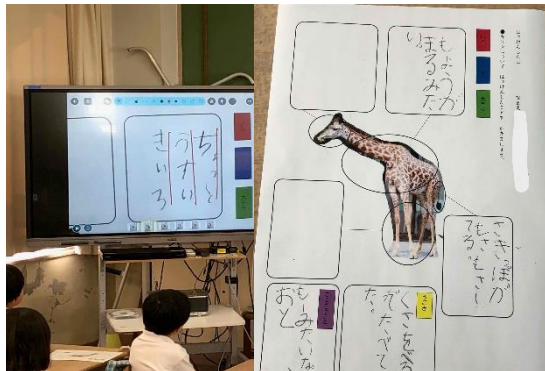
1年国語「はっけんしたよ」：見学旅行で実際に観察したヤギの写真や動画を見ることで、気づきをたくさんみつける。

1 ヤギの写真を見て、気づきに印をつける。



タブレットの写真を拡大したり、印を付けたりすることで観察したことを想起し、多くの気づきを持つことができた。また、印をつけた場所を「ここ！」と指さしながら見せ合うことができ、ペアでも活発な話し合いが生まれた。

3 他の動物について気づきを書く。



2 気づきを発表し、共有する。



黒板に拡大したヤギの写真ををはり、子どもの気づきを板書して共有。また、必要に応じて電子黒板で写真を拡大して確かめる。



動画視聴。音声消すことで動きに着目できるようにする。

色、形、大きさなどヤギの学習で学んだ観点を活かして別の動物（キリン）を観察。